

安全にご使用いただくために

ネットワークビデオレコーダー



2016年10月1版

本書は、必要なとき直ぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

安全に関わる表示について

本書で使用している安全に関わる表示と、図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。

 警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う恐れがある内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告図記号の種類

図記号の意味は次の通りです。

注意の喚起			
 発火注意	発煙または発火の恐れがあります	 感電注意	感電の恐れがあります
 一般注意	特定しない一般的な注意・警告を示しています	 ケガ注意	けがを負う恐れがあることを示しています
行為の禁止			
 一般禁止	絶対に行わないでください	 分解禁止	安全のため、機器の分解しないでください
 ぬれ手禁止	ぬれた手で触らないでください 感電する恐れがあります		
行為の強制			
 一般指示	必ず指示に従い操作してください	 電源プラグを抜く	安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くようにしてください

全般的なご注意事項

警告



本装置の通気孔やコネクタ端子の開口部から、水などの液体、異物を入れないでください。
発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。もし入ってしまった場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守サービス窓口にご連絡ください。



本装置の通気孔やコネクタ端子の開口部から、針金や金属片などの異物を入れないでください。
発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。もし入ってしまった場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守サービス窓口にご連絡ください。



本装置を分解・修理・改造しないでください。
発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。



本装置を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。
装置内部の温度があがり、故障の原因となる恐れがあります。

注意



本装置や電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。
筐体や電源ケーブルの被覆が溶けて、発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。



本装置に強い衝撃を与えないでください。
本装置が破損して、ケガや発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。



ぬれた手で本体に触れないでください。
電源プラグをコンセントに接続しているときは、ぬれた手で本装置に触れないでください。発火や感電の原因となる恐れがあります。

電源・電源ケーブルに関するご注意事項

警告



指定の電源電圧（AC100V）をご使用ください。
異なる電源電圧で使用すると発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグを持たないでください。
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる恐れがあります。



電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたりしないでください。
ケーブルが破損し、発火、感電の原因となる恐れがあります。



電源ケーブルは、必ず本装置に添付されたものをご使用ください。
本装置以外の電源ケーブルを使用されると、発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。また、本装置の電源ケーブルは他の製品に使用しないでください。発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。

注意



電源ケーブルを持って引き抜かないでください。
コンセントから電源プラグを抜くときは、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ引き抜いてください。電源プラグ、ケーブルが損傷すると、発火、感電の原因となる恐れがあります。



電源ケーブルの取り扱いには注意してください。
電源ケーブルの取り扱いについて次の注意をお守りください。電源プラグ、ケーブルが損傷すると、発火、感電の原因となる恐れがあります。

- ケーブルを踏まない
- ケーブルを折り返さない
- ケーブルをねじらない
- ケーブルをとし金などで固定しない
- 破損したケーブルは使用しない
- ケーブルをはさまない
- ケーブルに薬品類をかけない
- ケーブルを引っ張らない



電源プラグは、確実に差し込んでください。
根元までしっかりとコンセントに差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良による発熱が発生し、発火の原因となる恐れがあります。また、コンセントの差し込み口にほこりがたまると発熱し、発火の原因となる恐れがあります。



タコ足配線しないでください。
コンセントに定格以上の電流が流れることにより発熱し、発火の原因となる恐れがあります。

設置・移動・保管に関するご注意事項

警告



通気孔をふさがないでください。
 本装置の通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、発火の原因となる恐れがあります。
あお向け、逆さまにして使用しないでください。
 本装置をあお向け、逆さまに設置すると内部に熱がこもり、発火の原因となる恐れがあります。



設置、保管場所に注意してください。
 本装置は、以下に示すような場所には置かないでください。発火や故障の原因となる恐れがあります。

- ほこりの多い場所
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所
- 油煙や湯気の当たる場所
- 直射日光が当たる場所
- 不安定な場所や傾いた所

注意



腐食性ガスの存在する環境で使用ならびに保管しないでください。
 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、故障および発火の原因となる恐れがあります。



ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また強い衝撃や振動を与えないでください。
 本装置が転倒、破損しケガをする恐れがあります。また、衝撃により装置の故障原因となる恐れがあります。
もたれかかったり、座ったり、上に乗ったりしないでください。
 本装置が転倒、破損しケガをする恐れがあります。また、衝撃により装置の故障原因となる恐れがあります。



インタフェースケーブルの取り扱いに使用してください。
 インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。発火の原因となる恐れがあります。

- 破損したケーブル、コネクタを使用しない
- ケーブルを踏まない
- ケーブルの上にものを載せない
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない
- ケーブルコネクタが汚れたまま使用しない
- ケーブルを取り外す際、ロックのあるものはロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜く
- ネジ止めなどのロックのあるケーブルはロックを確実にを行う



電源の入ったまま移動させないでください。
 電源が入った状態で本装置を移動させると電源ケーブルが損傷し、発火や感電の原因となる恐れがあります。また内蔵 HDD を破損させる恐れがあります。電源をオフして本装置が停止したことを確認した上で、電源ケーブルやインタフェースケーブルを外し、移動させてください。



装置を移動する場合の注意について
 本装置を移動する場合、手や指を挟む恐れがありますので注意してください。

お手入れ・機器取扱いに関するご注意事項

⚠ 警告



分解・修理・改造しないでください。
発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となる恐れがあります。



定期的に電源プラグのほこりなどは取り、差し込み具合を点検ください。
コンセントの差し込み口にほこりがたまると発熱し、発火の原因となる恐れがあります。



ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。
変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。

運用中のご注意事項

⚠ 警告



万一、本装置の内部に水などの液体が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。保守サービス窓口にて修理を依頼してください。



万一、本装置から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。煙が出なくなるのを確認してから、保守サービス窓口にて修理を依頼してください。



万一、本装置を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。保守サービス窓口にて修理を依頼してください。



電源ケーブルが傷んだときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると発火、感電、故障の原因となる恐れがあります。保守サービス窓口にて修理を依頼してください。

⚠ 注意



雷が鳴っているときは、電源ケーブルや本体に触れたり、機器を接続したりしないでください。
感電する恐れがあります。

使用上のご注意事項



注意



本装置の近くで携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機を使わないでください。
電波により誤動作の原因となる恐れがあります。

廃棄について

本装置およびハードディスクドライブの廃棄については必ず保守サービス窓口にご連絡をお願いいたします。なお、本装置添付の電源ケーブルについても他の装置への転用を防ぐために本装置と一緒に廃棄となります。ハードディスクドライブに保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。また、本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがありますので、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずに保守サービス窓口にご連絡ください。

輸出について

本装置（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様であり、海外規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、日本国外に輸出する場合には、日本国政府等の許可が必要です。

電気通信事業法における技術基準について

本装置は、電気通信事業法における端末機器の技術基準適合認定を取得しておりません。電気通信事業者(NTT など)の通信回線設備に接続する場合は、事前に接続許可を取ってください。また、設置する際には有資格者による工事の実施等が必要となります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規制について

本装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

